令和５年度災害時の外国人市民支援に係る研修　実績報告書

市民局国際平和推進部国際化推進課多文化共生担当
（受託者：（公財）広島平和文化センター）

令和５年度災害時の外国人市民支援に係る研修の実施

外国人市民等の防災意識の向上を図るとともに、日本語で円滑にコミュニケーションできない外国人市民等に対する災害時の支援体制を整えるため、「災害時の外国人支援に係る研修の実施業務」を（公財）広島平和文化センターが受託し実施した。

１　実施内容

（１）外国人市民のための防災研修

日本で発生する災害に関するストック情報（過去の教育や訓練などで蓄積された情報）が不足している外国人市民等は災害そのもののリスクが分からず、また、フロー情報（災害時に発出される危険情報や避難情報）が届かなかったり、理解できなかったり、受け取っても適切な避難行動が取れないおそれがある。このため、外国人市民等を対象に、本市において頻発している豪雨災害を中心にストック情報を身に付け、災害時に適切な避難行動につなげてもらうよう防災意識の向上を図るための研修を２回実施した。

＜１回目＞

実施日：令和５年１０月１日（日）１０：００～１３：３０
会　場：広島市留学生会館　ホール
講　師：広島市危機管理室災害予防課　主査　脇田　知茂氏
参加者：外国人市民　１０人
内　容：

研修の内容としては、災害の種類や特徴に関する講義、防災・災害にまつわる言葉や災害時にとるべき行動について考えるクイズなどを行った。また、段ボールベッドの組立て体験や非常食の試食体験など、実践的な内容を盛り込むことにより、確実に知識を身に付けることを目的とした。

＜２回目＞

実施日：令和６年３月２日（土）１３：３０～１５：３０
会　場：沼田公民館
講　師：広島市危機管理室災害予防課　主事　山村　隆氏
参加者：外国人市民７人、　沼田日本語教室のボランティア１１人
協　力：沼田公民館、沼田日本語教室
内　容：

研修の内容としては、１回目と同様、災害の種類や特徴に関する講義、災害時にとるべき行動について考えるクイズ、非常食の試食体験などを行った。

（２）広島市災害通訳等ボランティア研修

広島市災害通訳等ボランティアを対象に、災害時における対応を身に付け、通訳・翻訳のスキル向上を図るための研修を実施した。また、広島市災害通訳等ボランティアの更なる能力の向上のため、本委託業務とは別に当財団が実施する「⑶参考：通訳ボランティア研修」に、広島市災害通訳等ボランティアも参加できるようにした。

実施日：令和６年２月１８日（日）９：３０～１５：００
会　場：広島国際会議場　地下２階　コスモス
講　師：地域国際化推進アドバイザー　武庫川女子大学文学部教授　吉富　志津代
参加者：延べ９人（内、広島市災害通訳等ボランティア１人、通訳ボランティア４人、両方の登録者４人）
内　容：

本研修では、まず午前中に、広島市職員が、広島市の外国人市民の状況、広島市災害多言語支援センター及び広島市災害通訳等ボランティア制度、平成３０年７月豪雨災害時の外国人対応について説明を行った。併せて、上記講師より、災害時の外国人への支援体制の在り方の説明、阪神淡路大震災及び東日本大震災時の外国人支援を通して得た気づきなどについて講義を行った後、実際の災害時に発信されたやさしい日本語の情報について翻訳者としての視点による改善点や注意すべき点を考えるグループスタディを行った。

午後からは、語学研修（英語）行った。内容としては、クイックレスポンスやシャドーイングといった通訳訓練法を使った口頭練習を行うとともに、実際の災害場面を想定し、避難所の受付場面における行政職員と被災者間の通訳や外国人住民からのボランティア登録への対応についてロールプレイングを実施した。